

サトウ産業株式会社



主力製品

- 本社所在地：新潟県魚沼市十日町482-3
- 事業概要：サラダ・和惣菜・カット野菜等の製造卸
- 常時使用する従業員：420名  
(2025年9月時点)
- 現在の売上高：41億円  
(2025年9月期)
- 法人番号：7110001026720
- Web：https://satosangyo-delica.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
佐藤 昭二

豊かで簡便で健康的な暮らしができる世界を実現する

当社は設立以来、スーパーマーケット向け冷蔵惣菜事業において、極短リードタイムと手間を惜しまない加工技術を武器に成長してきました。しかし、人口減少が進む中、現状の枠組みでは持続的成長は望めません。そこで新たに「急速冷凍技術」を導入し、人手不足が深刻な医療・介護施設向け冷凍業務用食品の新市場を開拓します。当社ならではの柔軟で細やかな盛り付け技術と高度な衛生管理を掛け合わせ、高品質な食事を全国へ届けます。本事業を起爆剤に、計画生産による労働環境革新、オリジナル商品の全国展開、アジア輸出やM&Aを推進し、10年後に売上高100億円を達成。「食のインフラ企業」へと飛躍します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・10年後（2036年）に売上高100億円を達成し、持続的な成長を遂げるため、CAGR約10%の安定成長を実現する。
- ・「手間のかかる小ロット多品種の加工技術」と「急速冷凍技術」のシナジーを最大化し、消費期限の制約を撤廃する。
- ・医療・介護施設向け冷凍業務用食品からスタートし、長期的にはスーパーマーケット向けオリジナル冷凍惣菜の全国展開、さらにアジア市場への輸出を目指す。

課題

- ・消費期限の短い冷蔵事業への過度な依存構造から脱却する。
- ・従来の「受注生産型」から、大型急速冷凍設備を用いた「計画生産型」への移行に伴う工場オペレーションの抜本的見直しと、従業員のマインドセット改革（部門最適から全体最適へ）を行う。
- ・新規参入となる冷凍業務用食品分野における製造・品質管理ノウハウの早期蓄積と、医療・介護施設の要望に応える開発体制を構築する。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・安定基盤の構築：医療・介護施設・給食事業者向け冷凍業務用食品のOEM受託を推進し、安定した収益基盤と冷凍食品の製造ノウハウを蓄積する。
- ・全国展開：蓄積したノウハウを活かし、既存の強固な販路である顧客向けに、自社オリジナルの冷凍惣菜商品を展開し、冷蔵事業に次ぐ第2の主力事業へ育てる。
- ・海外・M&A：磨いた冷凍食品の強みを活かし、経済成長と少子高齢化が見込まれるアジア圏へ輸出を開始。並行して親和性の高い食品メーカーのM&Aを推進し、事業規模を飛躍的に拡大する。

実施体制

- 【社内体制】
- ・代表取締役をトップとした全社横断的な戦略推進体制
- ・冷凍設備導入と計画生産への移行を推進する生産体制
- ・部門別採算制度の導入による営業・製造の連携強化
- ・デジタル・AI活用による生産管理および事務処理の高度化
- 【社外体制】
- ・近隣の複数産地との安定的な野菜調達ネットワーク
- ・既存の専門卸売業者を通じた販路開拓体制
- ・野菜残渣の堆肥化・再利用等の循環型サプライチェーンの構築

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです